



立哨の様子

交

9/26

通事故に気をつけて！

シルバー人材センター会員による交通安全啓発活動

秋の交通安全町民運動期間に合わせて、町シルバー人材センターの会員による交通安全の街頭啓発活動が実施されました。立哨活動中のシルバー人材センターの皆さんのように、明るい服装や反射タスキを着用することで、夕暮れ時でもドライバーが発見しやすくなり、交通事故から身を守ることができます。

また、今年の9月に、町内で80代の女性が運転する車が樹木に衝突する交通死亡事故が発生しました。運転中は前をよく見て、周りの歩行者や道路状況に気をつけて、安全運転に心がけましょう。

熟

9/27

練の技を教わりました

糸車による糸紡ぎ体験（歴史講座）

9月27日㊤に、中央公民館で糸車を使った糸紡ぎ体験を実施しました。実際の工程を「綿花を綿と種に分ける」「綿をまとめる」「糸車で糸を紡ぐ」という3工程に分けて体験を行いました。

綿と種に分ける作業には力が必要で、体全体を使って目いっぱい頑張る姿が見られました。糸紡ぎにはコツが必要で、講師が隣で教えてくれていましたが、途中で糸が切れてしまうなどなかなか上手に紡ぐことができませんでした。長く紡ぐことができた時には、満面の笑みが浮かんでいました。



糸紡ぎの様子

規

9/28

律ある技術の披露

令和7年度幸田町消防団観閲式



行進をする団員

9月28日㊤に防災広場において、幸田町消防団観閲式が行われました。

観閲式では、消防団員が一堂に会し、人員および機械器具の観閲を受け、この日のために一致団結し訓練を重ねた、規律厳正なる部隊訓練と消防技術を、会場に訪れた多くの町民の皆さんに披露することができました。また、これまでの地域貢献に対し、消防功労者などの各種表彰を行い、真剣な眼差しで表彰状を受け取る団員は一様に自信に満ち溢れていました。



高齢者疑似体験の様子

で 9/28 きることから少しずつ

幸田福祉ボランティアまつり

9月28日⑩に中央公民館で、幸田福祉ボランティアまつりが行われました。

会場は体験コーナーや喫茶・バザーコーナーとさまざまな出し物で賑わっていました。

高齢者を疑似的に体験できるコーナーでは、重りや固定具で体を動きにくくし、眼鏡や耳栓で感覚を鈍くすることで動くことの大変さや認知のしにくさを体験していました。階段を下りるにも、手すりが無いと動きにくく、戸惑っていました。

さまざまな体験を通して学んだことを、日々の生活で気を配る気持ちに活かしていきたいものです。

み 9/30 みんなで守ろう交通ルール

「ライト・オン」「無塩のナッツで事故と“無縁”」キャンペーン

秋は日没が早まることから歩行者や自転車が見えにくくなり、交通事故が増加する傾向にあります。秋の交通安全町民運動期間に合わせて、9月30日⑩に交通安全協会加盟事業所、交通指導員、警察、町による啓発活動をピアゴ幸田店で実施し、買い物に来たお客さんにチラシや啓発品を配布しながら「早めのライト点灯」や「無塩のナッツで事故と“無縁”」と呼びかけを行いました。

今回のキャンペーンを実施するにあたり、芦谷地内に店舗を構える㈱kinomiさんより無塩ナッツ（アーモンド）200袋の寄附と、「無塩のナッツで事故と“無縁”」というキャッチフレーズを提案していただき、キャンペーン当日も一緒に啓発活動を行いました。 啓発活動の様子



消防車で撮影する参加者

消 10/5 防・救急を身近に

消防ひろば

10月5日⑩に防災広場で、消防ひろばを開催しました。悪天候により順延しましたが、大きく天候が崩れることなく、開催することができました。

はしご車や消防車、救急車の乗車体験や放水体験など、日常では触れることのできない器具を扱うことができ、笑顔で保護者を見ている子がたくさんいました。クイズラリーや災害現場のVR体験を通して、災害時に取るべき行動を楽しみながら学ぶことができました。